

ギカイの窓

臨時号

2019年(平成31年)3月1日

平成30年度の議会報告・意見交換会の概要をお知らせします。



佐久市議会
広報モニター
募集予定の
お知らせ

佐久市議会が行う広報について、平成31年度より広報モニターを募集する予定です。活動としては、議会だよりに関するご意見や議会広報全般に関するご意見をいただきます。

詳細は、平成31年3月末に佐久市議会のホームページにも掲載しますが、佐久市議会事務局までお問い合わせください。

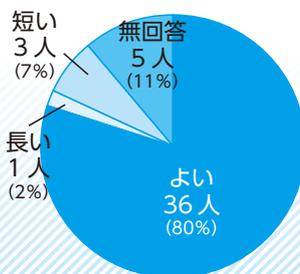
平成30年度 議会報告・意見交換会の概要

今年度の議会報告・意見交換会は、平成30年11月10日から18日にかけて、市内5会場で開催されました。特徴としては、昼間の開催を5会場のうち4会場で実施し、テーマを決めずにフリートークとしたこと、また、平成29年度に市民の皆様からいただいた意見を委員会内で調査したことを報告しました。

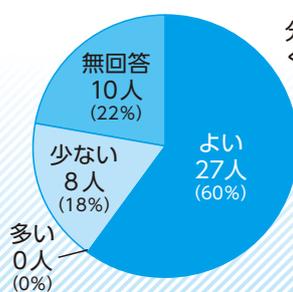
参加者は、合計62名でした（前年比マイナス10名）。アンケート結果は次のとおりで、「議会と語る会の見直し。少人数、市内で各地で実施をしたらどうか」、といった厳しい意見をいただく一方、「課題を決めず、出席者の意見を聞くことを大事に行うのが良い」と評価をしていただく意見もいただきました。

また、平成30年12月には、この議会報告・意見交換会の市民意見から、市へ政策提言をしたこともあり、参加者が少しでも増えるよう引き続き工夫していくとともに、出前議会報告会の実施や各種団体との意見交換を実施して市民意見の集約に努めていきたいと考えています。

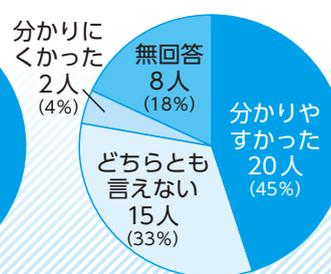
開催時間の評価



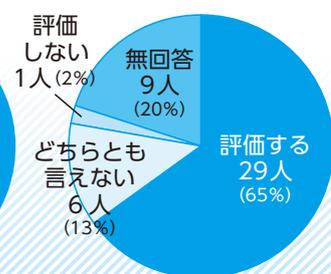
資料に対する評価



説明に対する評価



実施に対する評価



佐久市民の日

議場コンサートのお知らせ

「佐久市民の日」にあわせて、議場コンサートを開催します。予約者優先となりますが、当日席もありますので、是非、ご来場ください。予約期間は2月25日(月)から3月1日(金)で、1人2席までとなります。詳細は議会だより2月号をご覧ください。

なお、今年度は、オープニングでエストニアのアーティストによるカンネルとチェロの二重奏もありますので、あわせてお楽しみください。

日時：3月8日(金) 午後3時00分～4時30分頃まで(予定)
終了後、希望者のみ議会棟案内あり。

場所：佐久市議会議場

出演：カンネル：Kristi Mühling、チェロ：Aare Tammesalu、
ハンドベル：「ガチャベル」の皆さん

曲目：Ave Maria、見上げてごらん夜の星を 等



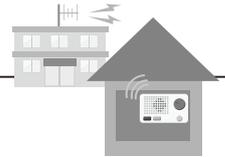
平成29年度の委員会において「調査・研究が必要なもの」としたその後の対応について

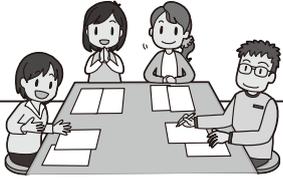
担当委員会	主な意見・要望の要旨	委員会の対応結果
総務文教委員会	<p>子育て支援の中で、高校生にスポットをあてて欲しい。市も議会も、中学校までは力を入れているが、高校生には支援していない。高校生も佐久市の大事な子どもである。</p> 	<p>①「街づくりについて」等のテーマで、市内高校生 11 名と意見交換（平成 30 年 3 月）。 ②市内高校生 1 年生へ公共交通に関するアンケートの実施。 ③岩村田高校生 13 名、野沢北高校生 27 名と公共交通に関すること等について意見交換。 ④市へ政策提言の実施（佐久圏域におけるネットワークの構築について等）。 ⑤佐久市・北佐久郡選出の県議会議員と政策提言について意見交換。</p>
経済建設委員会	<p>太陽光パネル設置については、水害、地滑り等、景観の問題もあり近隣住民は非常に迷惑を受けている、業者が設置する前に阻止をするような条例を策定できないか。佐久市の方向性をしっかり出して下さい。</p>	<p>平成 30 年 9 月、市は、ソーラーパネル設置業者向けに地元住民との協議を義務づける「ガイドライン」及び「設置要綱」を定め、業者に地域の方々との事前協議を義務づける等、一定の方向性が示されました。</p> 
社会委員会	<p>国民健康保険税の資産割について、田舎の人は土地などの資産を持っている（あまりお金にならない）資産割の部分を考えてもらいたい。</p> 	<p>平成 30 年度から、県が財政運営の責任主体として、市町村とともに国民健康保険を運営することとなり、大きな制度変更が行われたところです。今後も、資産割を含めて、国の指導や県の動向を注視し、健全な国保運営がなされるよう、委員会として全力で取り組んでいきます。</p>
議会運営委員会	<p>議員提案が少ない。この様な議員提案をしたことを市民に分かりやすくアピールしてほしい。特に行政視察などで視察してきた事を提案してほしい。</p>	<p>市政への反映の例としては、社会委員会において、平成 29 年 8 月に群馬県前橋市へ、10 月に兵庫県篠山市へ「手話言語条例」に関する行政視察を実施し、12 月定例会に佐久市手話言語条例の条例案を提出、可決され、平成 30 年 4 月から施行されています。</p>
総合交通対策特別委員会	<p>公共交通を試験的にしているとのことだが、今後改正するにあたっては、市民の声をもっとよく聞いて反映させるべきである。</p> 	<p>①デマンドタクシーやバスの運行事業者を訪問し、聞き取り調査。 ②近隣市町村に出張して公共交通に関する現地調査を行い、各自治体における交通体系の現状や利用補助制度について学習。 ③公共交通政策の先進地（長野県飯田市、三重県松阪市）へ視察。 ④老人クラブ連合会の協力のもと、アンケート調査の実施。 ⑤市へ政策提言の実施（地元意見を集約する地域ごとの協議体設置等）。</p>
広報広聴特別委員会	<p>④議会報告意見交換会は、良い企画だが参加者が少なすぎる。高校生の参加を促すなどもっと工夫を。 ⑥飯綱町で実施している政策サポーター制度や議会だよりモニター制度を佐久市議会でも取り入れてほしい。そして議会の活性化を図ってほしい。</p>	<p>④出前議会報告意見交換会を平成 30 年度より実施（市内在住、在勤など 10 人以上であれば申込可）、H30 年度の議会報告・意見交換会は 5 会場のうち 4 会場は昼間開催とし、車座での開催。 ⑥ H31 年度より議会だよりの広報モニターを実施。</p>

平成30年度 ご参加いただいた市民の皆さんからの意見、要望等

各会場でいただいたご意見について、その一部を掲載させていただきます。今後も以下のご意見を含め、市民の皆さんの声を真摯に向き合い、協議、対応し、詳細については、ホームページに掲載させていただきます。

担当委員会	市民からの意見・要望等
総務文教委員会	新規就農者がきて空き家を探しているが住宅がない、教職員住宅が空いているので県の施設であるのか市の施設か調べてほしい。
	防災無線が、特に雨や風の強い日は家の中では聞こえない。特に山間部では沢にさえぎられて聞こえにくい。希望する家に受信機を設置して有線にしてほしい。市が行っているメールやファクスなどによる情報発信も、もっと周知を。
	臼田地区新小学校（小学校と給食センター）の建設スケジュールや、建設場所が分かりにくいので市民に分かりやすい説明が必要ではないか。
	少子化となり、スポーツをやっている子どもさんが少なくなった。部活動もやりたいスポーツがなくなってしまい出来ない現状がある。指導者もそうだが、「人」をどう育てていくのか？スポーツだけでなく地域での人づくりをきちんとつくっていく必要がある。
	地域の要求は、全て区長会を通じて受ける。この在り方について検討してほしい。議員も一定の役割を果たしてもよいのではないか。
経済建設委員会	新規就農者に対する補助や支援体制について、新規就農者を育成するために、金銭的補助のみならずノウハウや情報ネットワークの提供等のバックアップ事業をコーディネートする人や部署を整える必要があるのではないか。
	整備が行き届いていない観光拠点がある。ぴんころ地蔵近くの駐車場は民有地のようなのだが水たまりだらけ、旧中込学校には大型バス駐車場がない、春日溪谷への道路整備ができていない。
	家庭用太陽光発電設置への補助制度はあるが、今後は蓄電池設置への補助も考えるべきではないか。
	今後の佐久平駅南地区の整備発展を展望したとき、駅およびその周辺に若者が気軽に立ち寄り、集えるような場所（施設）が欲しい。
	環境整備事業に「アダプトシステム」が使われているが、同制度には現物給付のみの支援しかない。何らかの金銭的補助はできないか。
社会委員会	結婚・高齢者対策について市の将来を見据えた検討・提案をしてほしい。
	福祉サービスで要約筆記があるが、団体だけでなく、個人でも利用できることを市民の方にも知っていただき利用もらいたい。市では、広報紙にこまめにPRをしてもらいたい。
	介護予防事業について <ul style="list-style-type: none"> ・お達者応援団育成事業のお手伝いを地域でしているが手が足りずパンク状態だ。なんとかしたいが困っている。 ・介護予防の催しはあっても総じて男性の参加が少ない。少なすぎる。市も引きこもっている男性をこうした場に引っ張り出す方策を考えるべきでは。 ・介護予防事業への参加を促すために、例えば、ポイント制を取り入れるなり何らかのインセンティブを考えたらどうか。
	2025年問題について、民間の力の活力、地域を守る取り組みを、地域でやっていくべき（仕組みづくりが必要）、市民にもっと考えて頂くように機運を高めていることが必要では。



担当 委員会	市民からの意見・要望等	
議会運営委員会	<p>地域ぐるみで子育てをしようという「コミュニティスクール」の取り組みが、地域に知られていない。市民が行政に直接声を届けるのは難しく、そういうときに頼るのが議員。議員は市民と行政の「橋渡し役」になってほしい。</p>	
	<p>各議員の、市政との向き合い方を問う。市と議員が互いの意見を取り込んで、より良いものにしてほしい。</p>	
	<p>ギカイの窓に掲載されている行政視察報告は誰に向かって報告しているのか理解できない。費用対効果をきちんと考えているのか？税金を使って行政視察へ行ってきました、だけでは困る。行政視察がきちんと生かせるように提言して頂きたい。</p>	
総合交通対策特別委員会	<p>地域の実情に合った利便性の良い路線バス・デマンドタクシーの運行をして欲しい。</p>	
	<p>デマンドタクシーは、バス停まで行って乗らなければならないのがネック。デマンドタクシーの利用に関して「HPを見て」と言われても、デマンドを使う年代の市民はHPは見られない。</p>	
	<p>佐久は車があると住みやすいが公共交通が未発達である。高校生の送迎を親がやっているが出来ない時は困る。</p>	
	<p>今は車の運転が出来るが、公共交通は切実な問題である。乗り換えが不便だし、前日予約も面倒である。浅間病院に行くにも不便である。</p>	
	<p>デマンドタクシーの使い勝手が悪いとの周りの意見が多い。免許を返納して、デマンドタクシーの無料券をいただいても、使わない（使えない）ので、結局は、若い人に送迎してもらっている。</p>	
広報広聴特別委員会	<p>昨年の意見交換会で「視察で学んだことや、この会で出た要望などがその後になくなったのか知りたい」という意見があったが、早速今回取り入れられているのは良いと思う。</p>	
	<p>本日のように参加者が少ない中で、この会の必要性が問われているのではないかと出前講座といった形も考えてみては。</p>	
	<p>特別委員会の説明は、議会運営委員会・公共交通対策特別委員会・広報広聴特別委員会の説明も欲しかった。</p>	
	<p>議会に関心を持って生活することの大切さを感じました。知らないことも皆さんの話をお聞きして考えさせられました。</p>	

平成30年度、3 常任委員会（総務文教委員会、経済建設委員会、社会委員会）では、各種団体の皆様と意見交換を実施しました。その一部を紹介します。

report

総務文教委員会 市内高校生との意見交換

市内高校生の皆さんからいただいた主な意見

- ① 3つの高校がある佐久平駅周辺に学習スペースが欲しい（交流センターなどの自習スペースの開放）。
- ② 奨学金の利用をもっと分かりやすく示してほしい。
- ③ 徒歩通学しているが、区との境界が暗いので街灯をつけてもらえないか。



野沢北高校での意見交換の様子

岩村田高校での意見交換の様子

report

経済建設委員会 地域おこし協力隊との意見交換

「地域おこし協力隊員」の皆さんからいただいた主な意見

- ① 各支所に一定の予算枠を与え、その地域の課題に即応できる体制はできないのか。地域の人と支所の人とがより緊密な連携を取って課題に向き合えば地域の活性化にも、また支所で働く人のモチベーションにもいい結果をもたらすのではないか。
- ② ペレットストーブ設置には補助があるが、ランニングコストはまだ割高だ。ふんだんにある薪を利用する薪ストーブへの補助も考えるべき。
- ③ 農作物の6次産業化に取り組んでいるが、加工等を試行する場がない。加工業者さんとの連携等ソフト面での行政の支援が欲しい。アイデアがあっても動きがとれないのが現状だ。



「地域おこし協力隊」の皆さんとの意見交換の様子

report

社会委員会 佐久大学学生との意見交換

佐久大学の学生の皆さんからいただいた主な意見

- ① 医療・介護現場の人材不足を解消するには「産休や長期休暇を取りやすい職場に」「大変な仕事というイメージよりも、やりがいや楽しさについて理解してもらう工夫が必要」
- ② 医療・介護を進路にしたきっかけは「困っている人の役に立ちたい」「中学・高校の職業体験で、医療・福祉に興味を持ったから」
- ③ 若者が住みよいまちにするためには「交通の便を良くするべき」「図書館など勉強できる場がほしい」



佐久大学での意見交換の様子

